

「この木・何の木？」クイズ正解発表

第32回「木と暮しのふれあい展」に於ける、当組合企画「この木・何の木？」クイズに多数ご参加頂き有難うございました。正解と解説は下記の通りになります。

[正解と解説]

	正 解	色 調
		解 説
針葉樹	ベイマツ 米松	辺心材の区分は明らかで、辺材は白から淡黄色。心材は橙赤色（イエローファー）から赤褐色（レッドファー）を呈する。年輪は鮮明で、年輪の幅は一般にイエローファーは狭く、レッドファーは広い。
		マツ科トガサワラ属の常緑針葉樹。 年輪幅が狭い大径木（古木の良材）をピーラと呼ぶ。我が国では米松と呼んでいるが、日本の松と同属ではなく、トガサワラ属に類する。
針葉樹	アカマツ 赤松 （天然カラ松）	樹皮は亀甲状に薄く剥がれる。幹全体が赤褐色。辺心材の境界はやや不明瞭で、辺材は淡い黄白色。心材は黄色を帯びた淡褐色。木目は鮮明。
		マツ科マツ属の常緑針葉樹。 柁目の無節を天然カラ松と呼ぶ。脂（ヤニ）を特に多く含んだ材は肥松（こえまつ）と呼ばれ珍重される。飾り棚、座卓、茶道具などに加工され、磨きながら使い込むとあめ色の美しい光沢が出る。
広葉樹	クルミ 胡桃	辺心材の区分は明瞭で、辺材は灰白色。心材は褐色を呈す。年輪はやや不明瞭。
		クルミ科クルミ属の落葉広葉樹。散孔材。 果実の核の中にある子葉を食用とし、また油を搾る。樹皮は染色に用いる。北米のウォルナットがこれに類する。
広葉樹	クリ 栗	辺材は狭く、褐色を帯びた灰白色。心材は褐色。材はタンニンも多く含み、年数が経つと徐々に濃くなり栗色から黒褐色に変化する。年輪は明瞭。
		ブナ科クリ属の落葉広葉樹。環孔材。 樹高は約10mに達する。大径木は少ない。6月頃に花穂を出し、独特の臭いがある。淡黄色の細花をつける。英語で栗はチェスナットと言う。

正解者の中から厳正なる抽選の結果、1名様に粗品を贈呈致します。